

社会資本整備総合交付金 事後評価シート

袖ヶ浦駅周辺地区

平成28年3月

千葉県袖ヶ浦市

様式1－1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	袖ヶ浦市		地区名	袖ヶ浦駅周辺地区			面積	180ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	3,197百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	A 基幹事業	事業名										
			袖ヶ浦駅周辺地区都市再生整備計画事業	・道路(袖ヶ浦駅自由通路) ・公園(街区公園) ・地域生活基盤施設(袖ヶ浦駅北口地域拠点広場、袖ヶ浦駅北口自転車駐車場、袖ヶ浦駅北口耐震性貯水槽) ・高質空間形成施設(袖ヶ浦駅北口シェルター) ・土地区画整理事業(袖ヶ浦駅海側土地区画整理)									
		B 関連社会資本整備事業	橋上駅舎整備事業	・袖ヶ浦駅橋上駅舎									
			事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	A 基幹事業	なし										
		B 関連社会資本整備事業	なし										
	新たに追加した事業	A 基幹事業	なし										
		B 関連社会資本整備事業	なし										
	交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標			単位	従前値		目標値		数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	合計床面積	㎡	805㎡	22(年度)	11,832㎡	27(年度)	14,289㎡	○	あり	土地区画整理事業区域内の第1工区において平成27年1月に使用収益が開始され、土地利用が進展している。土地区画整理事業は、平成29年度完了予定である。		
										なし			
	指標2	袖ヶ浦駅へのアクセス時間	分・秒	13分39秒	22(年度)	9分25秒	27(年度)	9分25秒	○	あり	土地区画整理事業区域内の道路が整備され、袖ヶ浦駅までの移動時間が短縮された。未整備箇所についても平成28年度中に整備される見込み。	H28年度	
										なし			
指標3	住民満足度(防災・防犯・公園緑地)	点	62.5点	20(年度)	65.7点	27(年度)	60.4点	×	あり	耐震性貯水槽については、半径120m以内の火災の消火に対応できる施設が新たに確保できた。 市民意識調査の防災・防犯・公園緑地の満足度としては、目標は達成できなかったが、土地区画整理事業区域内の公園整備、防犯灯の設置は、今後さらに進められていく予定である。また、同調査の「日常生活・生活意識」において、緑、公園、治安の良さ、消防体制の安心感について、過半数が肯定の回答をしている。 「日常生活・生活意識」について、「はい」を回答した割合 ・市街地に緑が多いと感じますか ・・・76.2% ・市内の公園がきちんと管理されていると思いますか ・・・58.2% ・お住まいの地域の治安が良いと思いますか ・・・60.6% ・消防・救急体制に安心感をもっていますか ・・・75.9%			
									なし				
3)実施過程の評価			実施内容					実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング	なし						都市再生整備計画に記載し、実施できた					
								都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
								都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	袖ヶ浦駅海側地区のまちびらきイベントを実施						都市再生整備計画に記載し、実施できた					
								都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
都市再生整備計画に記載し、実施できた													

様式1-2 地区の概要

袖ヶ浦駅周辺地区の暮らしやすい都市の実現(千葉県袖ヶ浦市) 社会資本総合整備計画の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 袖ヶ浦駅周辺地区の交通結節性を高め、駅前市街地の利便性向上、バリアフリー化による、暮らしやすい都市の実現を目指す。 目標1: 土地区画整理事業を実施し都市基盤整備及び宅地の土地利用増進を図るとともに、自由通路により駅南北の分断を解消し、南北を一体化させた効率的な市街地形成を図る。 目標2: 自由通路、駅前広場整備、土地区画整理事業等により袖ヶ浦駅へ、特に駅北側からのアクセス性の向上を図る。 目標3: 自由通路等歩行者空間のバリアフリー化、防犯・防災対策・公園緑地整備により、誰にでもやさしい安心安全のまちづくりを推進する。		合計床面積	単位: ㎡	805	H22年度	11,832	H27年度	14,289㎡	H27年度
		袖ヶ浦駅へのアクセス時間	単位: 分・秒	13・39	H22年度	9・25	H27年度	9・25	H27年度
		住民満足度(アンケート)	単位: 点	62.5	H20年度	65.7	H27年度	60.4	H26年度

■基幹事業
土地区画整理事業
袖ヶ浦駅海側土地区画整理

○関連事業
土地区画整理事業(特計)

○関連事業
橋上駅舎整備事業

■基幹事業
公園
街区公園整備

■基幹事業
道路
袖ヶ浦駅自由通路整備

■基幹事業
地域生活基盤施設
・地域拠点広場整備
・耐震性貯水槽整備

■基幹事業
高質空間形成施設
駅北口シェルター整備

■基幹事業
地域生活基盤施設
自転車駐車場整備

凡例

基幹事業

提案事業

関連事業

区画整理区域

計画区域

まちの課題の変化

・土地区画整理事業区域内の幹線道路が整備され、今後整備される区域外の幹線道路との接続が見込まれる。
・袖ヶ浦駅南北自由通路の供用開始により、駅南北の分断が解消され、交通利便性が向上した。
・自由通路と併せ新しい駅舎が整備され、駅ホームへの移動について、バリアフリー化が図られた。
・土地区画整理事業の進捗に応じ、使用収益が開始され、海側地区の市街化区域の土地利用が進展しつつある。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

・平成29年度に土地区画整理事業の完了を見込み、更なる土地利用の促進を図るため、周辺道路の整備をしていく。
・現在計画中である都市再生整備計画袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)において、土地区画整理事業区域内的の公園、自転車駐車場の整備、防犯灯の設置をさらに進展させる。